

副産物情勢

12月12日 更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考																										
内臓	1.国産牛	○ 10月の成牛と畜頭数は、99.5千頭(前年比103.6%)と前年を上回った。 内訳を見ると、和牛:48.6千頭(前年比109.4%)、交雑牛:22.2千頭(同99.3%)、乳牛去勢:10.9千頭(同98.6%)となった。 ○ 11月の成牛と畜頭数は、速報値(11月30日まで集計)で103.6千頭(前年比95.2%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(11月27日公表)によると、11月は和牛及び乳用種の減少が見込まれるが、交雑種の増加が見込まれることから前年並みと予測し、12月は、乳用種が減少するものの、和牛、交雑種の増加が見込まれることから、上回ると予測する。(11月 108.6千頭(前年比99.3%)、12月 105.0千頭(同107.2%)) そのため、3か月平均(10月～12月)では、出荷頭数103.8千頭(前年比102.5%)、生産量33.4千ト(同103.3%)と前年を上回る予測となっている。 ○ 需 給 動 向 ： 赤物はタン・ハラミ・ホホ・ハツ等の引き合いが継続しており、在庫がひっ迫している。テールは需要期であるものの、気温が下がりきらないためか引き合いは強くない。レバーは依然市中在庫が積みあがっている状況。 白物は、小腸(生)は徐々に流通し始めてきているが、と畜頭数が増加しているため冷凍滞留在庫の解消には至っていない。その他は部位によって引き合いはまちまちであるものの、概ね堅調推移。	1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月 26日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和3年10月 18日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年2月7日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和4年4月4日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年8月8日</td><td>45</td><td>9</td></tr><tr><td>令和6年12月2日</td><td>48</td><td>9</td></tr></table>			価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9	令和6年12月2日	48	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																										
	令和3年4月 26日	25	5																										
令和3年10月 18日	35	7																											
令和4年2月7日	25	5																											
令和4年4月4日	35	7																											
令和4年8月8日	45	9																											
令和6年12月2日	48	9																											
2.国産豚	○ 10月の全国豚と畜頭数は、1,458千頭と前年を上回った。(前年比101.5%) 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道105.6%、東北97.2%、関東103.0%、北陸甲信越99.7%、東海106.6%、近畿103.7%、中四国101.3%、九州・沖縄100.5% ○ 11月の全国と畜頭数は、1,410千頭(速報値11月30日まで集計、前年比95.0%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日少なく、1日当たりの平均と畜頭数は70,485頭(前年実績:70,633頭/日、前年差▲148頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;11月21日付け)によると、12月;1,482千頭(前年比101%)、令和7年1月;1,417千頭(同100%)、2月;1,344千頭(同98%)、3月:1,458千頭(同106%)、4月:1,404千頭(同100%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約101%と前年並みの見込み。 ○ 需 給 動 向 ： 12月の出荷頭数が前年を上回ると予想されることから、発生量は堅調な推移を見込む。 赤物は、需要部位を中心に堅調推移であり、特にカシラ肉の引き合いが強い。 白物は、残暑の影響により例年に比べ全体的に荷動きは多くないものの、業態により引き合いに差がある。ガツ・直腸の需要は引き続き堅調で推移。	※乳牛45円/kg *豚正貫物 2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月19日</td><td>25</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年10月 15日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年2月1日</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年3月28日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年8月1日</td><td>45</td><td>5</td></tr><tr><td>令和6年12月2日</td><td>48</td><td>5</td></tr></table>			価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5	令和6年12月2日	48	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																											
令和3年4月19日	25	3																											
令和3年10月 15日	35	4																											
令和4年2月1日	25	4																											
令和4年3月28日	35	4																											
令和4年8月1日	45	5																											
令和6年12月2日	48	5																											
3.輸入牛	○ 10月の輸入通関実績は、全体で43.9千トと前年を上回った(前年比109.0%、前月比115.1%) 内訳ではチルド:15.7千トン(前年比93.6%、前月比102.0%)、フローズン:28.2千ト(前年比120.0%、前月比124.0%)となった。 輸入相手国別では、チルドはニュージーランド、カナダ、メキシコが増加し、フローズンは、豪州、米国、カナダ、ニュージーランドが増加した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、国内需要の低迷により低調に推移する中、11月は豪州産の増加が見込まれること等から前年同月を上回ると予測し、12月は下回ると予測する。フローズンは、輸入品在庫量が高水準であるものの、豪州産のうち主に加工用ひき材などに使用されるトリミングの増加が見込まれること等から、11月、12月ともに前年同月を上回ると予測する。3か月平均では、チルドは下回り、フローズンは上回ると見込んでいる。 令和6年11月 合計:37.6千ト(前年比112.5%)、チルド:15.0千ト(同103.9%)、フローズン:22.6千ト(同119.3%) 令和6年12月 合計:37.0千ト(前年比102.5%)、チルド:14.8千ト(同98.6%)、フローズン:22.2千ト(同105.4%) ○ 輸入牛内臓実績(令和6年10月):牛腸(冷凍) 1,400.1ト(前年比119.6%・前月比113.9%) 国別実績:米国1,042.7ト、メキシコ142.2ト、豪州119.9ト、カナダ86.1ト、他牛レバー(冷凍);103.1ト(前年比109.7%・前月比117.7%) 国別実績:米国77.0ト、豪州14.8ト、メキシコ11.3ト																												
原皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 6 年 10 月) : 44,373枚(前年比92.5%、前月比122.1%) 国別実績;タイ40,098枚(前年比117.8%)、韓国1,945枚(同28.8%)、インド1,180枚(同51.3%)、フィリピン1,150枚(同50.0%) 輸出平均価格(令和6年10月):2,428円/枚(前年差+135円、前月差△183円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 6 年 10 月) : 牛大判皮23,286枚(前年比72.6%、前月比94.3%)、ウェットブルー13,470枚※(同83.8%、同52.3%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和6年10月):牛大判皮8,177円/枚(前年差△38円、前月差+812円)、ウェットブルー8,459円/枚(同+670円、同△662円) ○ 海 外 情 勢 : 輸出枚数は引き続き前年比で減少している。また世界的に価格が下落傾向であり、競争力で劣る日本産原皮の価格低迷は継続する見込み。 ○ 国 内 情 勢 : 皮革製品需要の減少やタンナーの人手不足等により国内産皮革の流通量が落ち込んでいる。皮革製品の需要喚起が必要である。	3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和牛)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年7月22日</td><td>700</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>500</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月15日</td><td>100</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月20日</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年5月24日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月16日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>			価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2
	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																										
令和元年7月22日	700	10																											
令和2年3月16日	500	10																											
令和2年6月15日	100	10																											
令和2年7月20日	100	2																											
令和2年9月28日	10	2																											
令和3年5月24日	10	10																											
令和5年10月16日	10	2																											
2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 6 年 10 月) : 1,030,056枚(前年比109.5%、前月比114.7%) 国別実績;タイ862,356枚(前年比111.7%)、カンボジア149,900枚(同137.8%)、韓国10,600枚(同30.5%)、ベトナム7,200枚(同29.0%) 輸出平均価格(令和6年10月):340円/枚(前年差△1円、前月差△36円) ○ 需 給 動 向 : 春頃より需要回復への期待感から価格は上昇傾向にあったが、実際の需要が伴わず8月から下がり始め、10月はさらに大きく下落することとなった。 価格低迷により、安価であったB級品の優位性が失われ、販売状況は厳しくなっている。	4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和ヌキ)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年8月15日</td><td>1,000</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>800</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月22日</td><td>300</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月27日</td><td>300</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年6月1日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月23日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>			価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2	
価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																											
令和元年8月15日	1,000	10																											
令和2年3月16日	800	10																											
令和2年6月22日	300	10																											
令和2年7月27日	300	2																											
令和2年9月28日	10	2																											
令和3年6月1日	10	10																											
令和5年10月23日	10	2																											
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(12月渡し):牛脂145円/kg(前年差±0円、前月差±0円)、豚脂145円/kg(同△10円、同±0円) 牛脂は、大手ファストフードチェーンがフライドポテトの販促を実施したことに加え、カレールーが需要期にあることから荷動きは改善してきている。 豚脂は、肉豚の生産コスト高により出荷日齢が早期化傾向にあることから発生量が抑えられている。ラーメン店向けの出荷も堅調であり、需給は引き締めり傾向。 ○ マレーシア産パーム油相場(11月):210円/kg(前年差+57円、前月差+4円) 10月生産量は179万トン(前月比98.7%)、輸出量は173万トン(同111.1%)、月末在庫は188万トン(同93.7%)となった。 生産量が減産期であることに加え、バイオ燃料の需要が依然堅調であることから、今後も底堅い相場推移を見込む。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (11 月) : 114円/kg(前年差△10円、前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (11 月) : 95円/kg(前年差±0円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(11月):123円～126円/kg程度(前年差±0円、前月差±0円)	5.食用加工油脂価格 単位:円/kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛脂</th><th>豚脂</th></tr><tr><td>令和4年4月1日</td><td>175</td><td>170</td></tr><tr><td>令和4年7月1日</td><td>195</td><td>190</td></tr><tr><td>令和5年1月1日</td><td>175</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年4月1日</td><td>165</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年7月1日</td><td>155</td><td>165</td></tr><tr><td>令和5年10月1日</td><td>145</td><td>155</td></tr><tr><td>令和6年7月1日</td><td>145</td><td>145</td></tr></table>			価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155	令和6年7月1日	145	145
	価格改定年月日	牛脂	豚脂																										
令和4年4月1日	175	170																											
令和4年7月1日	195	190																											
令和5年1月1日	175	175																											
令和5年4月1日	165	175																											
令和5年7月1日	155	165																											
令和5年10月1日	145	155																											
令和6年7月1日	145	145																											